

KODOMO PASOCON NEWS こどもパソコン新聞

【発行】
（株）情報学習新聞社
東京都港区新橋6-14-5
オーイズミ新橋ビル6F
TEL 03-3459-6190
http://www.joho-gakushu.com



▲恵まれた環境で熱心に勉強する名電高校の生徒さんたち

愛知工業大学 名電高等学校



愛知工業大学名電高等学校
石川 聡先生

学校のーT教育は ここまで進んでいる！

急速に変化している学校のーT教育。教育現場の現状はどのようなのでしょうか。
名古屋市の愛知工業大学名電高等学校と、
横浜市の神奈川大学附属中高等学校に伺いました。

最新設備の新校舎

平成十三年に完成した新校舎は、二つのコンピュータ室、情報デザイン室、CAD室、CCNA（ネットワークシステム）を学ぶ部屋など最新の設備が整っています。

大リーグのイチロー選手
の卒業校として有名な愛知工業大学名電高等学校は、最新設備と数々のウェアコンテストへの入賞などでも有名です。高等学校でのーT教育はここまで進んでいるのか？担当の石川聡先生にお聞きしました。

最初の重要な情報教育

最新の設備を誇る同校ですが、一番初めに行うことは「電磁波の害、インターネットなど情報を扱う際の倫理（有害サイトに入らない、悪用しない、などのルール）」をとことん教えること。試験もありです。「親と約束を守るなど技術的に行わせた」と「中学校で勉強していた子は、かなり違う」と感じます。

必修科目から専門科目まで

普通科では「情報」は二年生の必修科目です。文書作成、表計算、ホームページ作成、プレゼンテーションなど幅広く学びます。「タイピングはなるべく自分で身につけられるようにインターネットを利用して練習をできるようにしています」専門学科の情報科学科では、ネットワーク、デザイン、プログラミング、CADなども各学科ごとで専門的に学びます。



中学校でのスキルの差

高校入学時のスキルの差は、学科によって目的意識が違ってくる。みんなの前でプレゼンテーション（発表）を行わせたという「中学校で勉強していた子は、かなり違う」と感じます。

子どもたちへのアドバイス

小学生など小さいうちは「環境づくり」が大切だと思えます。子どもはのめり込みやすいので、自主性、計画性を考えて体をこわさないように「出口を見る」環境の与え方を心がけてください。「パソコンできます」が特技の時代ではなく、いろいろな勉強を身につけながら、その中の一として、また、目的をしっかりもって、「生懸命打ち込んでください」。

神奈川大学附属 中高等学校



神奈川大学附属中高等学校
小林 道夫先生

聞きました。

教科「情報」の三つの柱

十四年前から情報教育は行っていますが、重要なことは以下の三つの柱です。

- ① 情報活用能力の育成
- ② 情報の科学的な理解
- ③ 情報社会に参画する態度を身につける。

中学生にもなると、「コンピュータを使いたい」と考える生徒は多いのです。そのように興味を持った子にきちんと使えるようにならしてもらいたい。コンピュータやソフトウェアはもちろん、安全にインターネットも利用できるようにすることが第一のステップです。

家庭での所有率は98%

今や我が家の生徒の家庭でのコンピュータ所有率は98%くらい。インターネットへの接続率も93%以上です。親の世代が若くなら、情報社会に対する理解が深いことも影響していると思います。ITをと進めるのは間違いないでしょう。パソコンやインターネットを使うということには「普通」のことになると思います。

子どもの教育はソフト次第

今はコンピュータという道具に振り回されているのではないかと、この正直な感想です。大事なことは「良いソフト」を使うこと、基本から正しい知識と正しいスキルを教えることです。それによって、九九ができるようになったとか、漢字の意味がわかったとか、子どもが興味を持ち、教育効果が上がることに繋がれば良いと思います。

中学校で必要なこと

中学校では教養（学力）を身につけることと、（個人として自立するための）人格の形成が重要です。「自分で考え行動する」という力の育成にコンピュータは利用価値があると考えています。例えば、我が校では二年時には、六月にファームステイという校外学習を行っています。授業日など最低限の必要事項と技術だけを教え、九月が提出期限のホームページ作成という目的を持たせて、スケジュールなどを生徒が自主的に考え、行動する機会を与えています。

大事な目的

ウィンドウズとマッキントッシュを各五十台、二教室に設置しています。世の中の需要も考え、両方使えるようになってほしいというところからです。「一方的に教えこむのではなく、うまく機械を使って教えることを心がけています。作る過程と順序を教えたらわからない時だけ聞いてくれるのか」という生徒の目的意識が大事なのです。



▶小林先生の説明の内容は大型プロジェクターの映像に

